

Concept

2050年の住宅

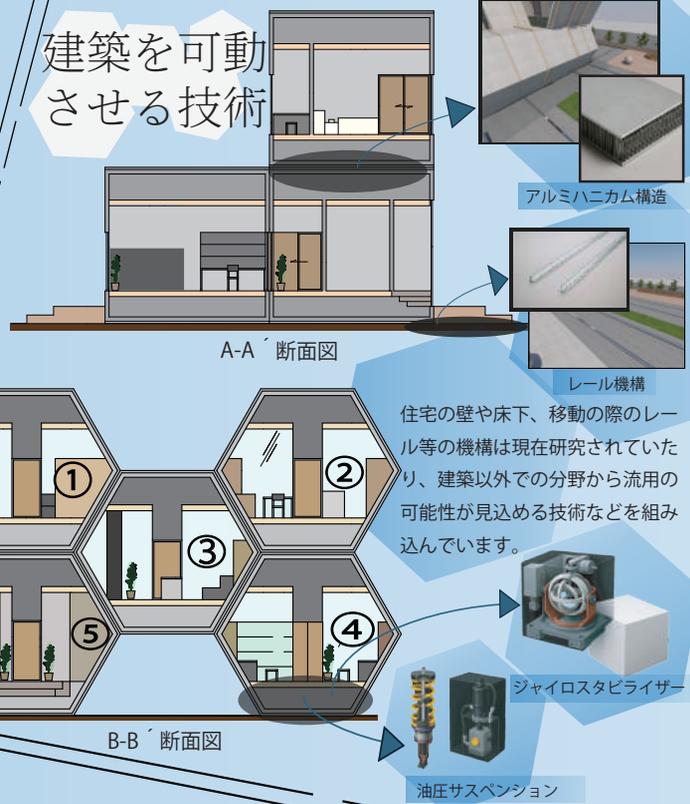
～可動し再生する住宅～

私たちは建築の1室（1モジュール）

を可動させる住宅を提案することにより、人々の流動的な生活に寄り添い、かつ再生させることで壊さず、住み替えが必要とならないような住宅を計画しました。（背景）

1960～70年代の日本では、人口増加と経済成長を背景に、社会や都市は拡大し続けるものとして考えられてきました。建築においても、成長を前提とした更新や増殖の思想が見られました。しかし現在、日本は少子高齢化や人口減少が進み、2050年までには人口が大きく減少すると予測されています。経済成長も鈍化し、私たちは「拡大の時代」から「縮小・停滞の時代」へと移行しています。このような社会状況の変化を踏まえ、これからの住宅には、新しく建て続けるのではなく、変化に適応しながら使い続けられるあり方が求められると考え、本計画では2050年の社会を見据えた新しい住宅の可能性を考えました。

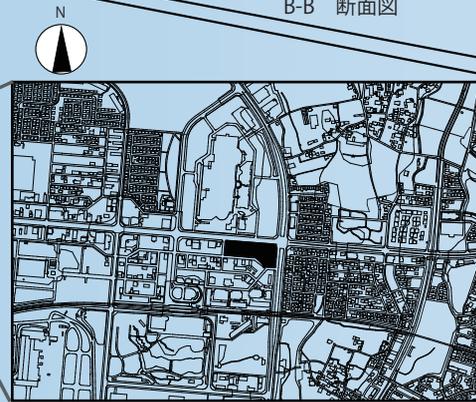
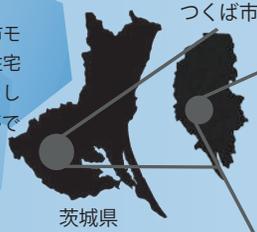
建築を可動させる技術



住宅の壁や床下、移動の際のレール等の機構は現在研究されていたり、建築以外での分野から流用の可能性が見込める技術などを組み込んでいます。

敷地・配置

つくば市が「研究・教育・生活が調和する都市モデル」を理念としていること、周辺に商業や住宅や公共の施設が見られることから、人々の暮らし近い距離で新しい住まいの在り方を示すことができると考え、この敷地を選定しました。



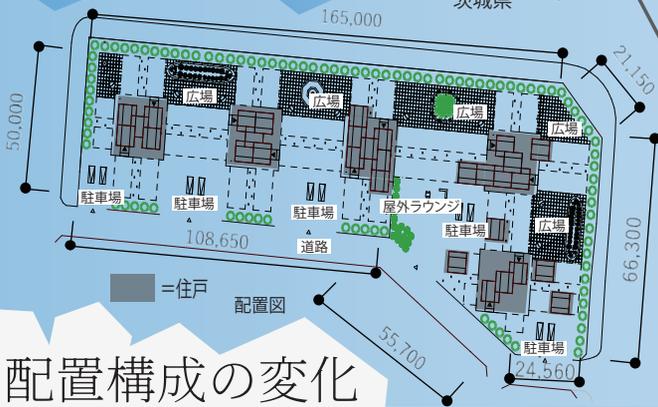
■ =計画敷地（とりせん研究学園店）



敷地北側

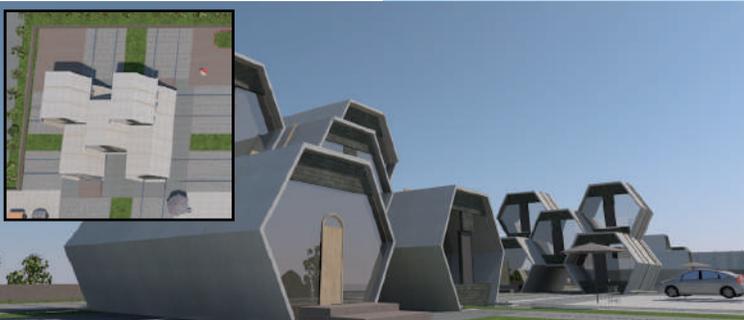


敷地南側

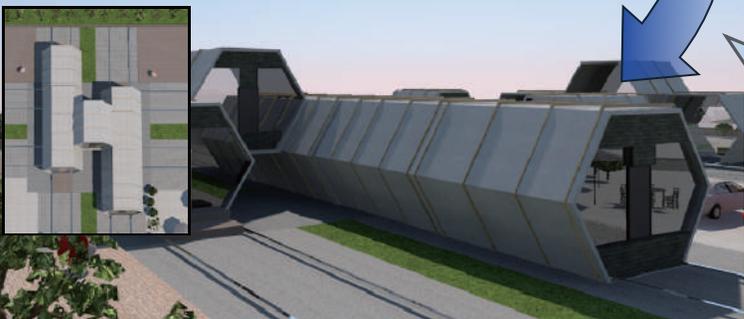


配置構成の変化

| 建築概要 | | | |
|------|--------------------|------|---------------|
| 敷地住所 | 茨城県つくば市研究学園5丁目18-1 | 用途 | 住宅 |
| 敷地面積 | 9,863㎡ | 構造 | RC構造・アルミニウム構造 |
| 建築面積 | 162㎡ | 延床面積 | 189㎡ |
| 建蔽率 | 1.64% | 容積率 | 1.91% |



モジュールを様々な位置に分けることもでき住居者がそれぞれのプライバシー空間を確保することができます。好きなタイミングで中心部に行くことも可能なので住居者同士の交流も容易にすることができます。



レールを使用することで1つの室だけを離して設置することができ、一人で集中したいときや来客が来たときに見られたくないものを離すことでプライベート空間を確保することができます。また、室と室をいくつも繋げることでより圧迫感がなく開放的な空間を作ることができ、住居者が過ごしやすい場が生まれます。



2階部分を1階へ持つてくることで視線が伸びて空間が広く感じられます。また、窓側の明るさから奥のやわらかな明るさまでの光のグラデーションが生まれ、居心地の良い落ち着いた空間が生まれます。

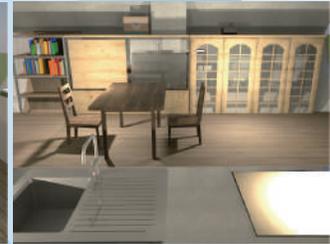
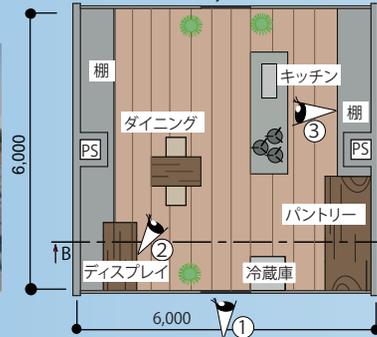
各モジュール平面図

①平面図(寝室兼浴室)



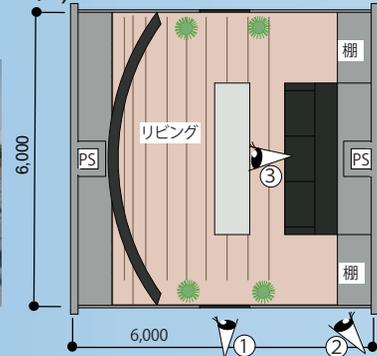
①パース ②パース ③パース
 寝室と浴室を融合させた室の構成。人間洗濯機を設け湿気が寝室にたまらないよう計画し、カーテンで空間を区切り、それぞれの室として使用することも可能になる部屋としました。

②平面図(キッチンダイニング)



①パース ②パース ③パース
 キッチンからダイニングまでの視線が通り、コミュニティが途切れず、かつ互いの食事する場所からもガラスに視線が抜け、外部の景観が常々楽しめるとともに、空間全体の様子が常に視界に入りやすくなるような計画としました。

③平面図(リビング)



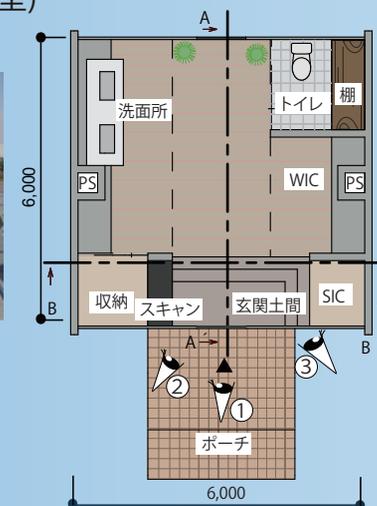
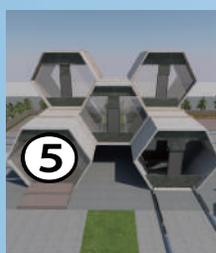
①パース ②パース ③パース
 二人がゆったりとくつろげるような広めなソファと大きなテレビが特徴。休日や疲れた際に息抜きとなるようなイメージを持たせ、狭苦しさを感じないような広々とした空間が演出されるような室としました。

④平面図(ワークルーム兼書斎)



①パース ②パース ③パース
 現在よりもリモートワークや在宅勤務などが未来では多くになると予想し、日々の仕事や調べ事、集中して作業するために最適な部屋となるよう意識し、中心に本棚を介すことで互いの視線が交わらないように計画しました。

⑤平面図(玄関室)



①パース ②パース ③パース
 生活の基盤となり、もっとも出入りの際に使用する部屋であるため、着替えやトイレ、顔や手を洗ったり等の身支度がこの室のみで行えるような間取りを意識し、日常的に使いやすい部屋をイメージし、計画しました。